

～～第8596回～～

無双連山

～H31. 1. 6～

約50年前、高校生の頃から名前は知っていた虚無僧や相撲の武双山を連想するような無双連山。下泉駅からの登山となると日帰りでは無理なコースのため、諦めて(忘れて)いた山。ワングルで良い機会に恵まれ(計画の栗代山が都合で無双連山に変更)参加した。国道1号バイパス(島田)向谷ICから大井川左岸を遡り、下泉駅手前で東へ下泉河内川沿いの山あいの道を進み、約7キロ15分で登山口の文沢集落へ着く。深い沢に架かる赤い橋を渡り民家の庭にある渡廊下を潜り、山道を15分の急登で茶畑と林道に出会う。茶畑の脇をひたすら登り再び林道へ出る。30分ほどで西側の尾根の峠を通過、さらに15分ほどで四辻を右へ、10分位で左の山道へ入る。15分程で大きな双幹の赤松の下で休憩を取る。赤松の下から少し登ると再び林道へ出る。ここは青部との交差点で無双連山と青部の道標がある。すぐ秋葉古道の山道へ入り20分でまた林道に出合い工事中の林道を10分位で再び山道へ入り10分、稜線の高山との分岐に出て、無双連山に向かい西へ急登10分、稜線は南に方向を変え犬戻りのやせ尾根を通る。この頃から冷たい雪混じりの西風が吹き寒くなる。犬戻りから10分徳山城址に着く。川根本町設置の説明板があり、戦国時代の山城跡は殿屋敷、陣屋平などの標柱と空壕らしき址があるが、比較的平坦な地は杉、桧が植林され眺望はきかない。さらに南へ5分程で西側の眺望の良い反射板に着く、11:00で食事休憩を取るが西風が寒いので15分程の休憩で腰を上げる。さらに5分二等三角点1083m本城山を通過、すぐに鍛冶屋跡の標柱があるが、その後は稜線を離れひたすら急降下で文沢への尾根を下る。60分で林道に出会うがさらに急坂の尾根を下ると、心配していた切通を下る道が見つからず、安全を考慮高低差100m位を元の林道まで登り返す。30分位のロスがあったが林道を歩き無事文沢登山口へ13:30到着した。文沢から時計廻りに一周するコースで植林の杉と桧により眺望もなく、昼前からは雪も舞う寒い日だったが、念願の無双連山を歩くことが出来た。

参加者：14名(静岡西)

天候：曇時々晴

地図：高郷・石上

コースタイム：安倍川駅前 630＝文沢 800-05…林道 820…尾根の峠 850…四辻 915…山道へ 925…休憩 940-50…林道から秋葉古道 950…林道 1010…高山との分岐 1030…犬戻り 1040…徳山城跡 1050…反射板 1100-15…三角点 1120…林道 1220…林道 1300…文沢 1325…文沢 1330＝安倍川駅前 1500

記録：静岡西支部 小澤